

一四 中支那方面部隊

--275--

0269

独立自動車第二四二中隊 (栄第七八〇二部隊)

昭和二〇	年月日	略歴
一	一三〇	軍令により独立自動車第二四二中隊編成下令
	一三〇	編成完結(東京)
	二一〇	東京出発
	二一一	博多港出帆
	二一二	釜山港上陸
	二一四	鮮満国境安東通過
	二二七	山海関通過
	三一	中支徐州着
	八一五	爾後徐州飛行場の整備勤務に従事
	八二五	停戦
	九二	終戦
	二二	内地帰還のため上海に集結
	三一	上海港出帆
	三一四	門司港上陸
	三一五	復員完結

独立自動車第二八三中隊 (采第七〇二九部隊)

年	月	日	略	歴
昭和二〇	一	一	編成完結(熊本)	軍令により独立自動車第二八三中隊編成下令
	一	二九	博多港出帆	
	二	一一	釜山港上陸	
	二	一一	鮮満国境安東通過	
	二	一三	奉天着	
	二	一四	奉天発	
	二	二一	奉天発	
	二	二二	山海関通過	
	二	二五	南京着	
			爾後同地附近の飛行場設定及警備に任ず	
	八	一五	停戦	
	九	二	終戦	
	二	二	内地帰還のため上海港出帆	
	三	一四	門司港上陸	
	三	一七		
	三	一九	復員完結	

第二十七師団衛生隊 (極第二九一三部隊)

年 月 日	略 歴
昭和二三 六 一	軍令により第二十七師団衛生隊編成下令
六 二二	編成完結(佐倉)
一七 一 一〇	爾後北支天津に駐留、北支中支に転戦並に華北警備
一八 七 三一	天津南部地区、津浦線、天津周辺の肅正作戦警備
一八 八 一	移駐のため山海関通過
一九 三 一五	満州錦西省綏中着
三 二一	中支作戦参加のため綏中出發
四 一〇	山海関通過
六 一五	清化鎮附近の警備
六 二〇	第二次河南作戦に参加
一一 一	漢口に集結
二〇 三 二〇	武昌出發、湘桂作戦に参加
	湖南省安仁附近の作戦参加
	広東省、えつ漢打通作戦参加

昭和二〇	五二〇	広東省恵陽附近の警備
	六一二	恵陽出發江西省高安に至る
	八一五	停戦
	九二二	終戦
二二	三一六	内地帰還のため上海出帆
	三一九	佐世保港上陸
同日		復員完結

第五通信隊本部 (統第一七九七二部隊)

年月日

略

歴

昭和二〇 三

三 三一

七 二三

八 一五

八 二〇

一〇 一七

一〇 二一

一〇 二二

一〇 二二

軍令により第五通信隊本部編成下令

編成完結(中支、漢口)

爾後漢口に在りて第六方面軍直轄部隊として同地の警備通信業務に従事

第十七方面軍司令官の隷下に入るため三梯団となり漢口出発京漢線に依り陸路転進

停戦

第一梯団は京城着第十七方面軍司令官の隷下に入る

内地帰還のため仁川港出帆

佐世保港上陸

復員完結

(註) 第二、第三梯団は北京に於て駐蒙軍司令官の指揮下に入る。

0532

-281-

0274

歩兵第百五十七連隊 (鶏第三〇六四部隊)

年	月	日	略	歴
昭和一八	三	一三	軍令により歩兵第一五七連隊臨時編成下令	
	三	三一	編成完結(佐倉)	
	四	三	佐倉出発	
	四	五	下関港出帆	
	四	六	釜山港上陸	
	四	八	鮮港国境通過	
	四	九	満支国境通過	
	四	一三	安徽省蕪湖県蕪湖着	
			爾後同地附近の警備	
二〇	三	一八	光号作戦準備のため蕪湖出発	
	三	一九	江蘇省上海着	
			爾後上海附近の警備	
	八	一五	停戦	
	九	二	終戦	

	昭 和 二 一	一 一	六	内地帰還のため上海港出帆
	二 一	一	九	佐世保港上陸
	同	日	復員完結	

第六十五師団工兵隊 (專第七九九二部隊)

年	月	日	略	歴
昭和一八	六	一〇		軍令陸甲第三十六号により第六十五師団工兵隊編成下令
	七	一〇		第六十五師団工兵隊編成完結(中支安山徽省合肥)
	七	一五		安山徽省合肥を出発
	七	二〇		中支江蘇省徐州に到着第六十五師団の隷下に入る
				爾後徐州附近の警備
	一〇			第五二旅団作戦永城附近の戦闘に参加
	一九	六		第十三軍作戦正陽関附近の戦闘に参加
				爾後徐州附近の警備並に陣地構築に従事
	二〇	八	一五	停戦
	九	二		終戦
	二	三	一〇	連雲港集結
	三	二七		内地掃蕩のため連雲港出帆
	四	二		佐世保港上陸
	四	三		復員完結

独立速射砲第二十八大隊 (登第五七六七部隊)

年	月	日	略	歴
昭和一九	七	二一	軍令陸甲第九十一号により独立速射砲第二十八大隊臨時編成下令	
	八	三〇	編成完結(名古屋)	
	一〇	九	屯営出発	
	一〇	一一	中支派遣のため門司港出帆	
	一〇	一一	釜山港上陸	
	一〇	一五	鮮満国境通過	
	一〇	一六	山海関通過	
	一一	三	漢口到着	
	二〇		同日より同地附近の警備	
	二	二〇	上海転進のため漢口出発	
	二	二三	上海呉淞到着	
	八	一五	同日より同地附近の警備	
	八	一五	停戦	
	九	二	終戦	

5830

-285-

0278

昭和
二二
一一
一一
二八

内地帰還のため上海港出帆
鹿兒島港上陸
復員完結

独立混成第八十五旅団工兵隊 (至潔第一七八五八部隊)

年月日	略	歴
昭和一九二一年二月一九	編成完結(牡丹江市愛河)	軍令により第十野戦補充隊工兵隊編成下令
二二八	中支移駐のため牡丹江出發	
三二二	満支国境通過	
三二二	北京―南京―漢口―孝感を経て湖北省応城景長江埠到着	
二〇三二〇	爾後同地附近の警備	軍令陸甲第十八号により第十野戦補充隊工兵隊復帰、独立混成第八十五旅団工兵隊に改編さる
八一五	停戦	爾後引続き長江埠附近の警備
九二二	終戦	
二二五二二	内地帰還のため上海港出帆	
五二八	佐世保港上陸	
五二八	復員完結	

1880

-287-

0280

第一独立鉄道工作隊 (統第二二五二部隊)

昭和一九	年月日	略歴
五	五	軍令により第一独立鉄道工作隊編成下令
五	一九	編成完結(千葉)
六	一〇	中支派遣のため下関港出帆
六	一〇	釜山港上陸
六	一一	鮮満国境通過
六	一五	漢口着、武昌に駐屯
二〇	七	爾後武昌より衡陽、景林、柳州に転戦粵漢線の建設警備、橋梁工事等に従事す
二〇	八	柳州より撤退作戦
二二	八	漢口に集結
二二	一三	内地帰還のため漢口出発
六	一三	上海港出帆
六	一九	鹿児島港上陸
六	一九	復員完結

独立自動車第四十九大隊 (呂第六二六五部隊)

年	月	日	略	歴
昭和	一六	七	一七	軍令により独立自動車第四十九大隊編成下令
		七	二三	編成完結(京都)
		八	一二	神戸港出帆
		八	一五	馬山港上陸
		八	一九	鮮満国境通過
		八	二一	牡丹江着、第三軍司令官の隷下に入る
		二	二八	牡丹江に在りて警備勤務並に輸送業務に従事
		二	二九	転進のため牡丹江出発
		二	一八	湖北省武昌着
		三	一三	爾後同地附近の飛行場設定作業及輸送業務並に警備勤務に従事
	至自	一一	二四	湖桂作戦に参加、新市―長沙―易俗河間の後方輸送業務に従事
	至自	一一	二九	南部粵漢打通作戦及湘西作戦に参加、長沙周辺及衡陽―初陽間の後方輸送業務に従事
	至自	一一	三〇	以後間衡山及長沙に在りて輸送業務並に警備勤務に従事
	至自	一一	二〇	

